

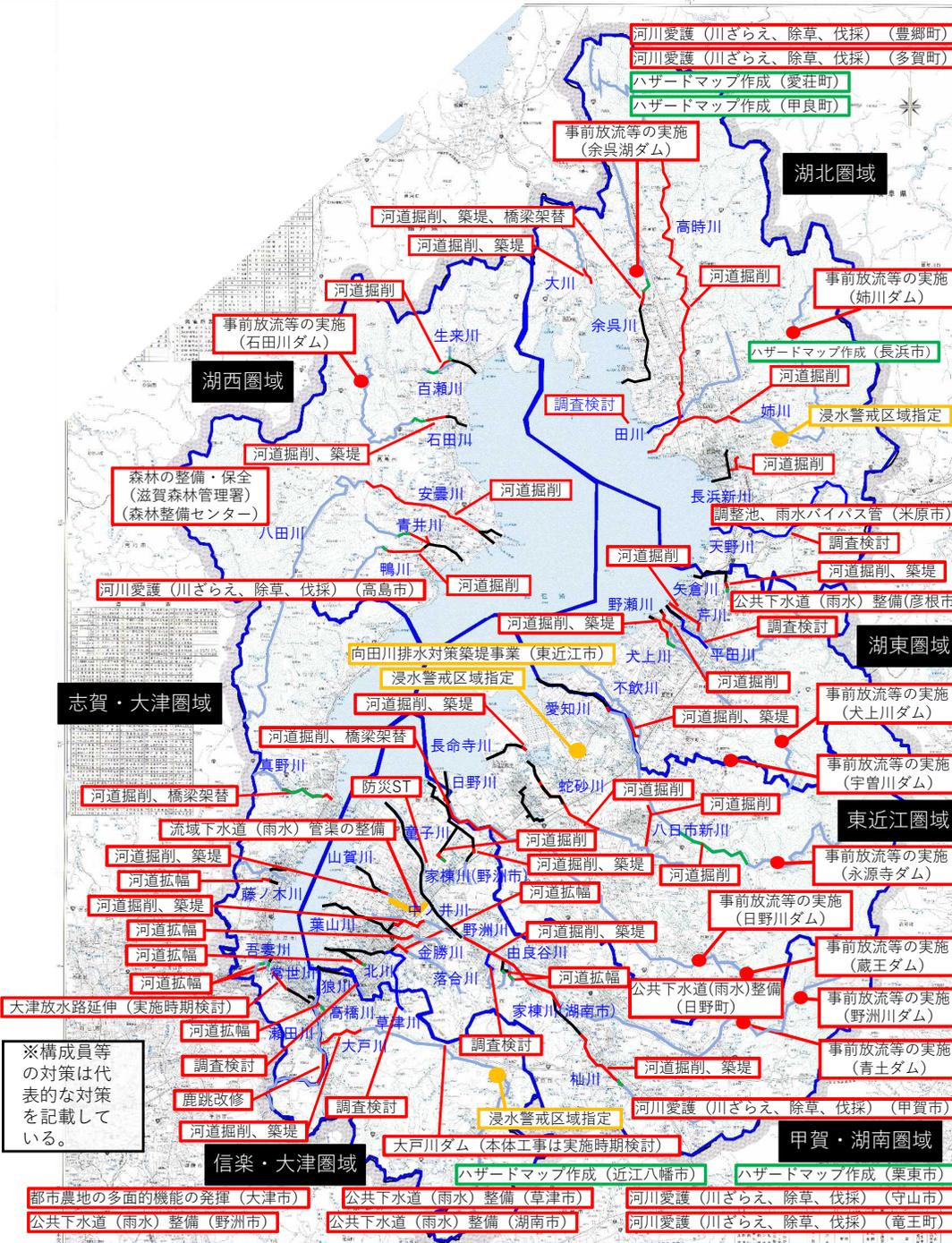
1. 各分会からの報告

1-1.琵琶湖分会

淀川水系流域治水プロジェクト 琵琶湖(滋賀県域)分会 【位置図】

～琵琶湖流域人口141万人の「滋賀県民」の命を守る治水対策の推進～

○近年、気候変動の影響等により各地で激甚な災害が発生したことを踏まえ、琵琶湖流域においても、事前防災対策を進める必要があり、以下の取り組みを実施していくことで、流域における浸水被害の軽減を図る。



■氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- ### 洪水氾濫対策
- 志賀・大津圏域 藤ノ木川(河道拡幅)、真野川(河道掘削・橋梁架替)、瀬田川(鹿跳改修)、常世川・吾妻川(河道拡幅)、大津放水路(延伸(実施時期検討))、普通河川の整備・一級河川および普通河川の保全
 - 信楽・大津圏域 大戸川(河道掘削・築堤)、高橋川(河道拡幅)、大戸川(大戸川ダム(本体工事は実施時期検討))、普通河川の整備・一級河川および普通河川の保全
 - 甲賀・湖南圏域 野洲川(河道掘削・築堤)、山賀川(河道掘削・築堤)、葉山川(河道拡幅)、中ノ井川(河道掘削・築堤)、金勝川(河道拡幅)、北川(河道拡幅)、柚川(河道掘削・築堤)、家棟川(野洲市)(河道掘削・築堤)、家棟川(湖南市)(河道掘削)、由良谷川(河道拡幅)、童子川(河道掘削)、落合川(調査検討)、草津川(調査検討)、狼川(調査検討)、普通河川の整備・一級河川および普通河川の保全
 - 東近江圏域 長命寺川(河道掘削・築堤)、日野川(河道掘削・橋梁架替)、八日市新川(河道掘削)、蛇砂川(河道掘削)、愛知川(河道掘削)、普通河川の整備・一級河川および普通河川の保全
 - 湖東圏域 犬上川(河道掘削・築堤)、不飲川(河道掘削・築堤)、芹川(河道掘削)、野瀬川(河道掘削)、矢倉川(河道掘削・築堤)、平田川(調査検討)、普通河川の整備・一級河川および普通河川の保全
 - 湖北圏域 余呉川(河道掘削・築堤・橋梁架替)、長浜新川(河道掘削)、姉川・高時川(河道掘削)、大川(河道掘削・築堤)、田川(調査検討)、天野川(調査検討)
 - 湖西圏域 安曇川(河道掘削)、石野川(河道掘削・築堤)、鴨川(河道掘削)、公共下水道(雨水)整備(彦根市)
 - 内水氾濫対策 ○流域下水道(雨水)管渠の整備 ○公共下水道(雨水)管渠等の整備 ○琵琶湖沿岸の内水排除
 - 土砂災害対策 ○砂防関係施設の整備
 - 流水の貯留機能の拡大 ○既存ダムを活用した事前放流等の実施
 - 流域の雨水貯留機能の向上 ○雨水貯留施設の整備 ○開発行為に伴う調整池の設置 ○森林の整備・保全 ○治山対策 ○農地・農業水利施設の整備・保全 ○ため池の整備・保全
 - 既存管理施設の適切な維持管理 ○老朽化対策 ○耐震対策

■被害対象を減少させるための対策

- ### 水災害ハザードエリアにおける土地利用・住まい方の工夫
- 市街化区域新規編入時の土地利用誘導の実施 ○浸水警戒区域指定による建築規制の実施
 - 浸水警戒区域内での高上げ等安全な住まい方の支援
 - まちづくりでの活用を視野にした土地の水災害リスク情報の充実
 - 地先の安全度マップによる想定浸水深の公表、更新 ○ハザードマップの作成
 - 浸水範囲の限定・氾濫水の制御
 - 市町における浸水対策事業

■被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- ### 土地の水災害リスク情報の充実
- 水害履歴調査結果の公表 ○地先の安全度マップによる想定浸水深の公表、更新
 - あらゆる機会を活用した水災害リスク情報の提供
 - 自治会や小学校等での水害出前講座の実施 ○河川水位計や河川防災カメラの設置と情報提供 ○簡易量水標の設置
 - 水防団や地域住民が参加する洪水に対しリスクが高い区間の共同点検
 - 避難体制等の強化
 - 特に水害リスクの高い地区における避難計画作成支援 ○避難に資するマップ等の整備・拡充
 - 避難勧告等の判断・伝達マニュアルの整備 ○広域的な避難計画等の策定支援
 - 要配慮者利用施設における避難計画等の策定及び避難訓練の実施 ○避難行動に資する情報発信等の充実
 - 自治会等における避難計画および避難行動要支援者の個別避難計画の策定支援
 - ハザードマップ、マイ・タイムラインの作成 ○気候変動等を踏まえた気象観測・予測の高度化、監視の強化
 - 防災士の養成支援
 - 関係者と連携した早期復旧・復興の体制強化
 - 河川防災ステーション(水防拠点)整備 ○被災自治体に対する支援

※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合があります。
※河川管理者の河川整備計画は、現時点では現行計画を基にプロジェクトに反映しますが、今後、河川整備計画の変更手続を行う予定なので、変更された場合にはその内容を反映します。
※他の事業者の計画も見直されれば、同様に反映します。
※新たな関係者にも広く参加を呼びかけることから、新たな関係者の計画も反映します。

淀川水系流域治水プロジェクト 琵琶湖（滋賀県域）分会【ロードマップ】

- 琵琶湖流域では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、国、県、市町等が一体となって、「流域治水」を推進する。
- 【短期】 洪水を安全に流下させるため、河道掘削、堤防整備を主に実施すると共に、安全なまちづくりや内水被害軽減対策（雨水貯留施設の整備等）などの流域対策、タイムライン活用等のソフト対策を実施。
- 【中長期】 大規模な浸水被害から人命や資産を守るため、河川整備や流出抑制策を実施し、あわせて、安全なまちづくりや内水被害軽減対策（雨水貯留施設の整備等）などの流域対策、タイムライン活用等のソフト対策を継続実施する事により流域全体の安全度向上を図る。

区分	対策内容	実施主体	工程			
			短期	中長期		
■ 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	洪水氾濫対策	琵琶湖河川事務所、滋賀県、大津市、彦根市、長浜市、草津市、守山市、甲賀市、湖南市、高島市、米原市、日野町、竜王町、愛荘町、豊郷町、甲良町、多賀町	山賀川 河道掘削・築堤完了	日野川 JR橋架替完了	姉川・高時川 河道掘削完了	
	内水氾濫対策	滋賀県、大津市、彦根市、長浜市、近江八幡市、草津市、守山市、栗東市、甲賀市、野洲市、湖南市、東近江市、米原市、日野町、愛荘町、豊郷町、多賀町、琵琶湖開発総合管理所	流域下水道守山栗東雨水幹線完了			
	土砂災害対策	滋賀県				
	流水の貯留機能の拡大	近畿農政局、滋賀県、甲賀市、湖南市、栗東市、守山市、野洲市、等	淀川水系治水協定の運用中			
	流域の雨水貯留機能の向上	滋賀森林管理署、森林整備センター、滋賀県、大津市、彦根市、長浜市、草津市、守山市、甲賀市、野洲市、湖南市、高島市、東近江市、米原市、竜王町、愛荘町、豊郷町、甲良町、多賀町				
	既存管理施設の適切な維持管理	琵琶湖河川事務所、琵琶湖開発総合管理所、等	瀬田川洗堰耐震対策完了			
■ 被害対象を減少させるための対策	水災害ハザードエリアにおける土地利用・住まい方の工夫	滋賀県、大津市、近江八幡市、守山市、甲賀市、東近江市、米原市、愛荘町	浸水警戒区域内での建築制限、嵩上げ等支援の実施中			
	まちづくりでの活用を視野にした土地の水災害リスク情報の充実	滋賀県、大津市、彦根市、長浜市、近江八幡市、草津市、守山市、栗東市、甲賀市、野洲市、湖南市、高島市、東近江市、米原市、日野町、竜王町、愛荘町、豊郷町、甲良町	地先の安全度マップの更新中			ハザードマップの更新
	浸水範囲の限定・氾濫水の制御	東近江市	向田川排水対策築堤事業完了			
■ 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	土地の水災害リスク情報の充実	滋賀県	地先の安全度マップの更新中			
	あらゆる機会を活用した水災害リスク情報の提供	琵琶湖河川事務所、滋賀県、高島市、東近江市、米原市	出前講座等実施中			
	避難体制等の強化	近畿地方環境事務所、彦根気象台、滋賀県、大津市、彦根市、長浜市、近江八幡市、草津市、守山市、栗東市、甲賀市、野洲市、湖南市、高島市、東近江市、米原市、日野町、竜王町、愛荘町、豊郷町、甲良町	避難計画等作成支援の実施中			避難計画等作成完了
	関係者と連携した早期復旧・復興の体制強化	近畿地方整備局、琵琶湖河川事務所、等	TEC-FORCE等実施中			

※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合があります。
 ※河川管理者の河川整備計画は、現時点では現行計画を基にプロジェクトに反映しますが、今後、河川整備計画の変更手続きを行う予定なので、変更された場合にはその内容を反映します。
 ※他の事業者の計画も見直されれば、同様に反映します。
 ※新たな関係者にも広く参加を呼びかけることから、新たな関係者の計画も反映します。

凡例 点線: 対策(工事)中、対策計画等作成中
 実線: 対策(工事)完了、対策計画等に基づく行動

1-1.琵琶湖分会

大津市

事業名：都市農地の多面的機能の発揮

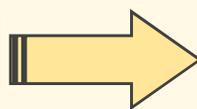
大津市

- 大津市農業振興ビジョンの令和3年4月の改訂に合わせ「都市農地の多面的機能の発揮」に係る取組みを追加する方針で検討中
- 都市農地の保全により、雨水を貯留・浸透し、流域治水に効果を発揮
- 大津市の市街化区域内の農地面積 386ヘクタール(2016年現在)

事業メニューの内容、イメージ

都市農地

宅地化すべきもの



都市にあるべきもの

大津市農業振興ビジョンを都市農業振興基本法第10条における地方計画に位置付ける方向で検討しており、都市農地の多面的機能を生かせる取組みを推進（取組案）

- ・ 都市農地の多面的機能に着目し、生産緑地制度などを調査研究
- ・ 農地の持つ防災機能に着目し、防災協力農地制度などを調査研究
- ・ 都市農地の保全・活用を図るための制度について調査研究

事業メニューの効果

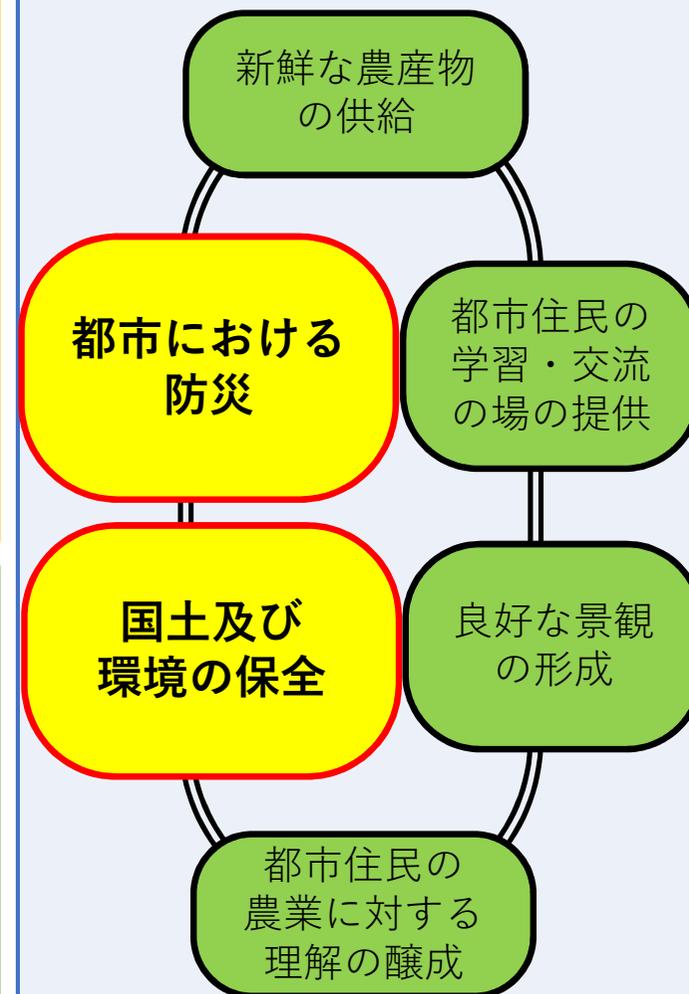
都市農地の保全

雨水の貯留・浸透

流域治水に効果



都市農業の多様な機能



- 総合的な治水対策としての雨水の流出抑制及び資源の有効利用を図る
- 各戸貯留(R2.3.31までに692戸実施 大津市全戸数138千戸)
- 施設を設置する者に対して、予算の範囲内において助成金を交付(年間予算:1,500千円)

事業メニューの内容、イメージ



雨水貯留タンク（屋根に降った雨を貯めるタンク）



雨水浸透ます（屋根に降った雨を地下に浸透させる小さな穴の開いたます）

事業メニューの実施事例



設置している雨水貯留タンク



設置している雨水浸透ます

事業メニューの効果等

たくさんの方が設置し雨水を貯めることで、街の中に小さなダムがたくさんでき、大雨のときの浸水被害を少しでも減らすことができます。小さな雨水タンクでも、集まれば大きな効果を生み出すことが可能です。

課題：全戸数に対して設置戸数が少ない

施設名	助成金額	交付限度額
雨水貯留施設 (貯留槽)	助成対象経費（1建築物当たり1基）の2/3	100ℓ以上 150ℓ未満 25,000 円
		150ℓ以上 200ℓ未満 35,000 円
		200ℓ以上 40,000 円
雨水浸透施設 (浸透ます)	助成対象経費の2/3	60,000 円

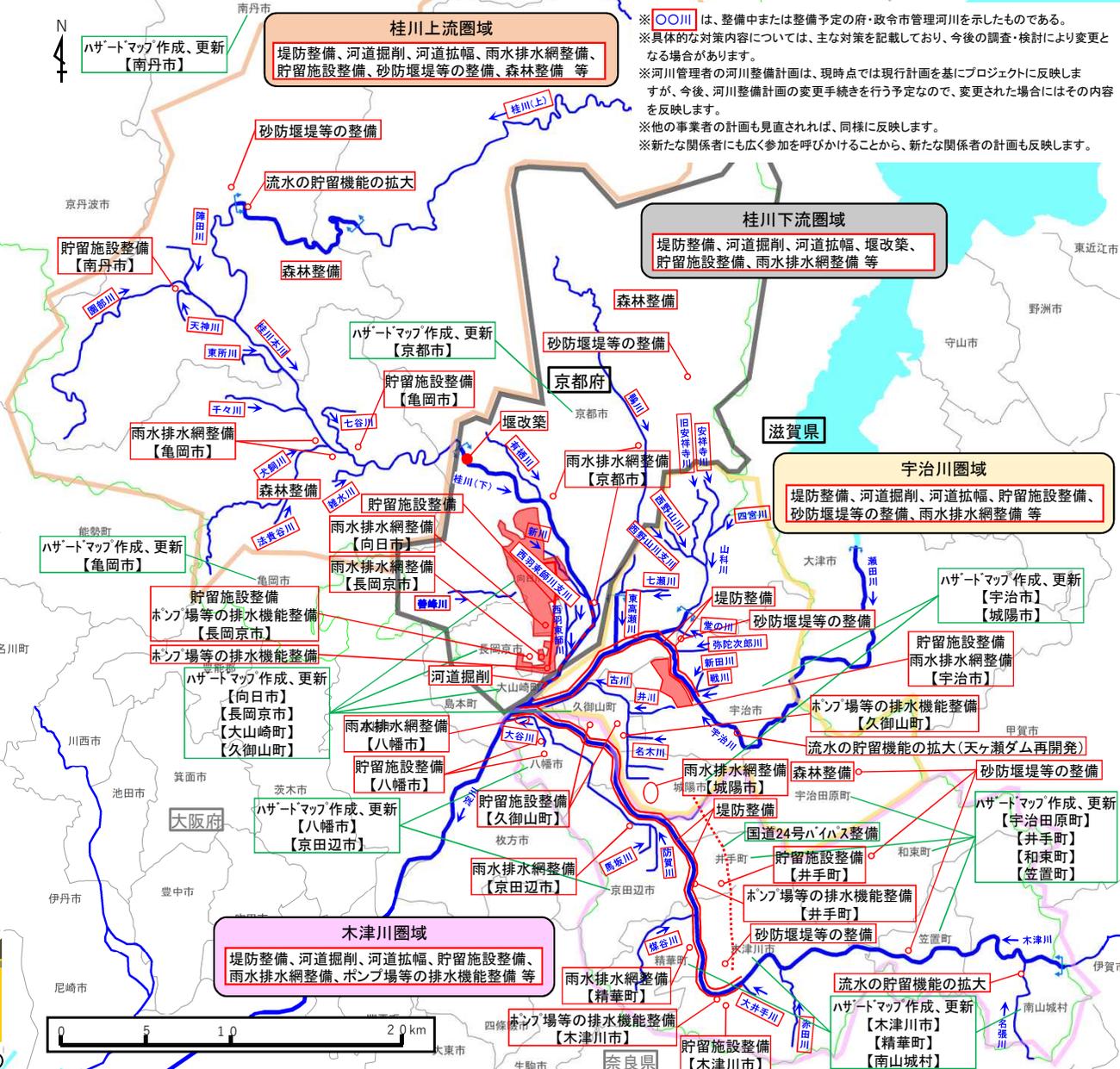
1-2. 淀川(京都府域)分会

淀川水系流域治水プロジェクト 淀川（京都府域）分会【位置図】

～みず・ひと繋る古都を支える流域対策の推進～

- 京都府域では、宇治川、木津川、桂川が1箇所で合流する三川合流点が存在。
- 三川合流点の上流では、合流点の高い水位によるバックウォーター現象から、各河川において、水位が高く洪水が流れにくい状態となるため、内水河川からの排水が困難となり、近年洪水でも内水被害が発生。
- このため、三川合流点への流量の低減や合流時間を分散させ、バックウォーター現象を抑制する対策等を実施する。

- 凡例
- 大臣管理区間
 - 堤防整備
 - 河道掘削
 - 堰改築
 - 県境
 - 市町村境
 - 貯留施設整備
 - 雨水排水網整備等
 - 道路整備



※〇〇川は、整備中または整備予定の府・政令市管理河川を示したものである。
 ※具体的な対策内容については、主な対策を記載しており、今後の調査・検討により変更となる場合があります。
 ※河川管理者の河川整備計画は、現時点では現行計画を基にプロジェクトに反映しますが、今後、河川整備計画の変更手続きを行う予定なので、変更された場合にはその内容を反映します。
 ※他の事業者の計画も見直されれば、同様に反映します。
 ※新たな関係者にも広く参加を呼びかけることから、新たな関係者の計画も反映します。

- 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策**
- ・堤防整備、河道掘削、堰改築
 - ・砂防堰堤等の整備
 - ・雨水排水網整備、ポンプ場等の排水機能整備
 - ・天ヶ瀬ダム再開発
 - ・流水の貯留機能の拡大
 - ・堆積土砂撤去
 - ・河川管理施設等の老朽化対策
 - ・河道内樹木の伐採
 - ・森林整備
 - ・ため池等の整備、貯留施設整備
 - ・開発行為に伴う調整池の設置
 - ・各家庭等における雨水貯留施設整備への助成 等

- 被害対象を減少させるための対策**
- ・立地適正化計画策定
 - ・条例等に基づき計画している安全なまちづくり

- 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策**
- ・地区タイムラインの活用
 - ・広域避難計画の策定
 - ・要配慮者避難確保計画等の作成、支援
 - ・ハザードマップ作成、更新
 - ・まるごとまちごとハザードマップの整備
 - ・分かりやすい防災気象情報の提供
 - ・排水ポンプ車出動要請の連絡体制の整備、排水計画に基づく排水訓練の実施
 - ・避難行動に資する情報発信等の高度化及び防災情報の充実
 - ・「局地的豪雨探知システム」の活用推進とゲリラ豪雨対策アクションプランの策定
 - ・災害救援に寄与する浸水エリア外の道路ネットワーク整備



淀川水系流域治水プロジェクト 淀川（京都府域）分会【ロードマップ・効果】

～みず・ひと繋る古都を支える流域対策の推進～

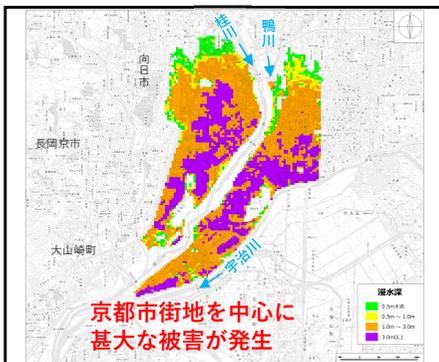
- 淀川水系淀川(京都府域)の宇治川、木津川、桂川では上下流・本支川の流域全体を俯瞰しつつ国、府、市町村が一体となって「流域治水」を推進する。雨の降り方次第で、三河川が同時にピーク流量を迎えることもあり、その際は三川合流点の流れにくく、各支川の水位上昇を助長する。このため、淀川水系中流域では三川合流点への到達流量を低減、水位低下を図る流域治水対策が重要であり、以下の手順にて推進する。
- 【短中期】三川の中で最も流下能力が低い桂川において、河道掘削等を主に実施。
- 【長期】戦後最大規模の洪水流下時に浸水被害を解消するため、河道掘削等を実施し、流域全体の安全度を図る。
- あわせて、安全なまちづくりや内水被害軽減対策（雨水排水網、貯留施設の整備等）などの流域対策、タイムライン活用等のソフト対策を実施。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	堤防整備、河道掘削等	淀川河川事務所 京都府	→		
	流水の貯留機能の拡大	淀川統合管理事務所 琵琶湖河川事務所 水資源機構	→ 天ヶ瀬ダム再開発完成 (琵琶湖河川事務所)		
	雨水排水網整備 貯留施設整備 (下水道浸水対策事業含む)等	京都府 久御山町、城陽市、向日市、亀岡市、 大山崎町、京都市、宇治市、八幡市、 井手町 等	→ 【貯留施設整備】 遊水機能を有した公園整備 (亀岡市) 【雨水排水網整備】 公共下水道事業 (京田辺市) 【雨水排水網整備】 公共下水道施設整備事業 (宇治市) 【貯留施設整備】 雨水調整池の整備 (久御山町) 【雨水排水網整備】 下水道床上浸水対策事業 (京都市) 【貯留施設整備】 雨水貯留施設設置 (城陽市) 【雨水排水網整備】 公共下水道施設整備事業 (宇治市) 一の井堰改築完成 (淀川河川事務所)		
被害対象を減少させるための対策	「安全なまちづくり」に向けた取り組み（立地適正化計画策定）	長岡京市 等	→ 計画変更 (長岡京市)		
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	ハザードマップ作成・更新 まるとまちごとハザードマップの整備、避難体制等の強化等	気象庁、環境省 京都府 木津川市、京田辺市、精華町、宇治田原町、和束町、笠置町、南山城村 等	→ 避難所標識版の設置 (木津川市) 局地的豪雨探知システムの利活用促進とゲリラ豪雨対策アクションプランの策定 (環境省)		
	災害救援に寄与する浸水エリア外の道路ネットワーク整備	京都国道事務所	→ 要配慮者避難確保計画の策定 (京田辺市)		

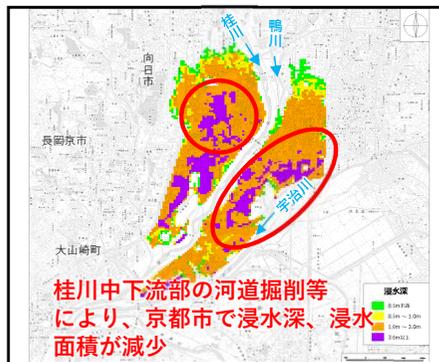


気候変動を踏まえた更なる対策を推進

現在



中期



長期

浸水被害解消

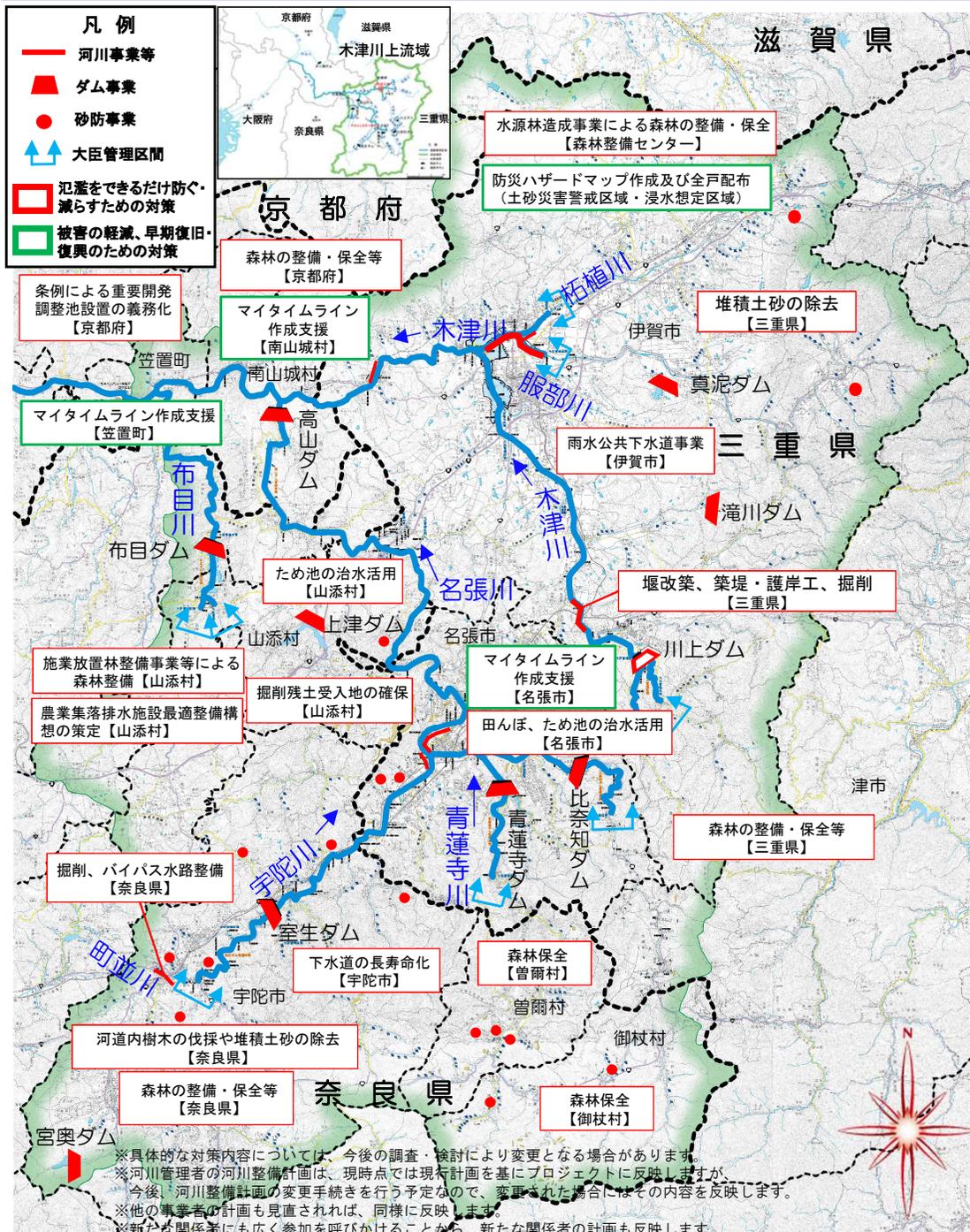
※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。

※直轄管理区間において、戦後最大洪水（昭和28年）と同規模の洪水が発生した場合の氾濫想定範囲

1-3.木津川上流分会

淀川水系流域治水プロジェクト 木津川上流分会【位置図】

～淀川の水と緑が組み合う流域治水対策～



○近年の豪雨や、気候変動による水害の激甚化・頻発化に備え、淀川流域において、あらゆる関係者が協働して流域全体で水害の軽減を図る。

■氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

【洪水氾濫対策】

・河道掘削・拡幅、築堤、橋梁架替、堰改築、川上ダム、上野遊水地、バイパス水路、ため池の決壊防止、掘削残土受入地の確保推進

【内水氾濫対策】

・下水道(雨水)管渠等の排水施設整備、雨水ポンプ増強、雨水公共下水道事業の整備

【土砂災害対策】

・砂防堰堤、溪流保全工の整備、地すべり対策

【流水の貯留機能の拡大】

・川上ダムの整備、利水ダム等9ダムにおける事前放流等の実施、効果的な事前放流の実施(予測精度向上や施設改良)
 ・ダム湖の堆砂除去

【流域の雨水貯留機能の向上】

・調整池の整備、田んぼ・ため池等の治水活用
 ・森林の整備・保全、治山 等



御杖村の地域おこし協力隊(森林保全)

■被害対象を減少させるための対策

【水災害ハザードエリアにおける土地利用・住まい方の工夫】

・土地利用誘導(災害危険区域の指定など)
 ・災害危険区域や建築制限の指定を受けた区域の整備(立地適正化計画策定事業など) 等

■被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

【土地の水災害リスク情報の充実】

・地形変更等のあった箇所基礎調査、水害リスク空白域の解消

【あらゆる機会を活用した水災害リスク情報の提供】

・防災教育の実施、水害履歴の情報発信
 ・ポータルサイトにおける水害リスク情報の充実

【避難体制等の強化】

・避難勧告に着目したタイムラインの策定、マイ・タイムラインの作成
 ・広域避難計画の策定、多機関連携型タイムラインの拡充
 ・ハザードマップの改良・周知・活用、まるごとまちごとハザードマップの整備
 ・システム等による危険度情報の発信(避難行動に資する高度化)
 ・避難勧告等の判断・伝達マニュアルの整備、関係機関が連携した実動水防訓練の実施
 ・要配慮者利用施設における避難計画の策定及び避難訓練の促進
 ・水防団や地域住民が参加する水害リスクの高い箇所の共同点検
 ・水防活動の担い手となる水防団員や水防協力団体の募集・指定の促進



南山城村の避難行動タイムラインの作成

【関係者と連携した早期復旧・復興の体制強化】

・排水施設情報の共有・排水手法等の検討、大規模水害を想定した排水計画(案)の作成
 ・排水ポンプ車出動要請の連絡体制の整備、排水計画に基づく排水訓練の実施 等 12

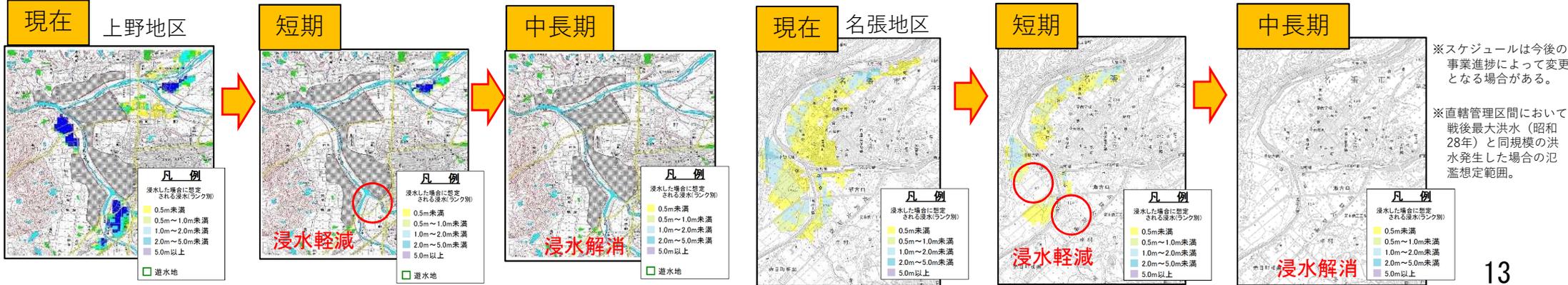
淀川水系流域治水プロジェクト 木津川上流分会【ロードマップ・効果】

～淀川の水と緑が組み合う流域治水対策～

- 木津川上流域では流域全体を俯瞰し、国、府県、市町村等が一体となって、以下の手順で「流域治水対策」を推進する。
 - 【短期】 計画規模洪水を安全に流下させるため、川上ダム建設、橋梁架替や河道掘削、堤防整備を主に実施。
 - 【中長期】 豪雨が頻発・激甚化する中、市街地の浸水被害を防ぐ内水氾濫対策として、ため池や田んぼ等の治水活用を実施。また、大規模な浸水被害から人命や資産を守るため、森林保全等の流出抑制策を実施し、流域全体の安全度向上を図る。
- あわせて、内水被害軽減対策（ポンプ場整備等）、水防拠点整備や管理施設の長寿命化対策等を実施する。

区分	対策内容	実施主体	短期	名張引堤Ⅰ期完成(国土交通省)	中長期	名張引堤Ⅱ期完成(国土交通省)
氾濫をできるだけ防ぎ減らすための対策	名張川の河道(河床)掘削、引堤、橋梁架替等による洪水氾濫対策	国土交通省				
	名張川、宇陀川、町並川、山田川等の河道(河床)掘削や地下パイパス水路、樹木伐採・堆積土砂撤去等による洪水氾濫対策	国土交通省、三重県、奈良県				
	木津川、服部川、柘植川等の河道(河床)掘削や樹木伐採・堆積土砂撤去等による洪水氾濫対策	国土交通省、三重県、京都府				
	下水道(雨水)管渠等の排水施設整備、雨水ポンプ増強、雨水公共下水道事業の整備	伊賀市、宇陀市				
	砂防堰堤工、溪流保全工の整備、地すべり対策	国土交通省、三重県、奈良県				
	川上ダムの整備、利水ダム等9ダムにおける事前放流等の実施、効果的な事前放流の実施(予測精度向上や施設改良)、ダム湖の堆砂除去	農林水産省、水資源機構				
	調整池の整備、田んぼ・ため池等の治水活用、森林の整備・保全、治山等	農林水産省、三重県、京都府、奈良県 名張市、山添村、嘗爾村、御杖村、森林整備センター				
被害対象を減少させるための対策	土地利用誘導(災害危険区域の指定など)、災害危険区域や建築制限の指定を受けた区域の整備(立地適正化計画策定事業など)等	名張市等				
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	水害リスク情報の空白域の解消等による土地の水災害リスク情報の充実	国土交通省、三重県、京都府、奈良県				
	防災教育の実施等によるあらゆる機会を活用した水災害リスク情報の提供	国土交通省、水資源機構、三重県、京都府、奈良県				
	避難勧告に着目したタイムラインの策定、マイ・タイムラインの作成等による避難体制等の強化	全ての主体				
	大規模水害を想定した排水計画(案)の作成等による関係者と連携した早期復旧・復興の体制強化	国土交通省、三重県、京都府、奈良県				

気候変動を踏まえた更なる対策を推進



1-3.木津川上流分会

伊賀市

【氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策】

木津川上流における河川対策(直轄管理河川)

伊賀市

【取組内容】: 上野遊水地事業

【場所】 : 三重県伊賀市高倉地区 他

【実施内容】<木津川、服部川、柘植川>

- ・河道掘削(約3.2km)
- ・引堤(約0.7km)、橋梁延伸(1橋) 他

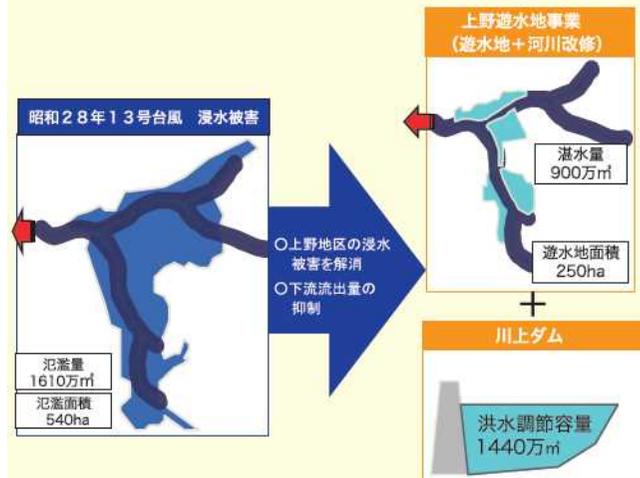
【現状の課題】

上野盆地の常習的な浸水被害に鑑み、その浸水域540ha(昭和28年台風13号)のうち、約250haの区域を遊水地とし、川上ダムとあわせて狭窄部(岩倉峡)への流入量を抑制しつつ、河道掘削等の河川改修を行う事で上野地域の治水安全度を向上を図る。



上野地区の治水対策(戦後最大洪水)

狭窄部下流の流出量を自然状態程度の流出量に抑制し、上野地区の浸水被害を解消するためには上野遊水地、河川改修及び川上ダムを併せて完成させることが必要となります。



【効果】

- ・ 整備計画対象である昭和28年台風13号洪水を安全に流下させる。

1-3.木津川上流分会

宇陀市

【被害の軽減、早期復旧・復興のための対策】

宇陀市地域防災リーダー講座研修会の開催

宇陀市

【取組内容】

毎年、市内体育館において、自治会や自主防災組織の代表者約50名を対象に地域防災リーダー講座研修会を予定。

宇陀市では「自助・共助・公助」による防災・減災作用を強化させることで災害に強いまちづくりを目指して毎年継続して取り組んでいる研修会です。

実施概要

- 日時 毎年実施（R2年度は新型コロナ対策で中止）
- 参加機関 自治会、自主防災組織、宇陀市
- 実施概要 避難所設営・運営訓練
（座学・実技）

感想等

毎年受講者からは好評を頂いています。

実施状況



1-4.淀川(大阪府域)分会

淀川水系流域治水プロジェクト 淀川(大阪府域)分会 【位置図】

～滯輝く関西経済圏を支える流域対策～

- 大阪府域では複数河川が低平地を貫流しており、下流部では人口・資産が集積したゼロメートル地帯が大阪湾へ向けて広がることから洪水、津波、高潮、内水氾濫等により大規模な浸水被害が発生するリスクがある。
- このため、河川改修やダム整備と併せて、下水道施設整備、流出を抑制する雨水貯留施設等の拡大や河川防災ステーション整備、広域避難計画策定等の流域治水対策を実施する。

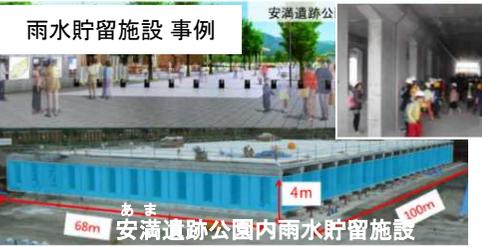
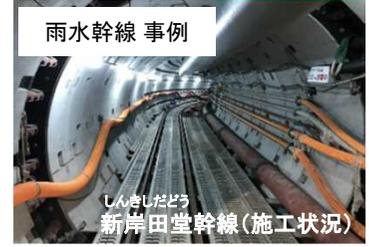
- 凡例**
- 堤防整備・河道掘削等
 - ⋯ 雨水幹線、貯留浸透施設等
 - 砂防事業
 - ポンプ場の増強等



- 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策**
- ・高規格堤防整備、築堤、堤防強化
 - ・河道拡幅・掘削、橋梁架替・改築
 - ・護岸、落差工改築・撤去
 - ・砂防事業、森林整備及び保全
 - ・閘門新設、水門改築、施設耐震補強
 - ・河川防災拠点整備
 - ・高架橋緊急避難場所確保
 - ・ダム建設、ダムの堆砂除去
 - ・事前放流等の実施・体制構築
 - ・地下河川、流域調節池、遊水地
 - ・下水道等の排水施設整備・耐水化
 - ・雨水貯留浸透施設の整備
 - ・各家庭等における雨水貯留浸透施設整備への助成
 - ・ため池の治水活用 等

- 被害対象を減少させるための対策**
- ・土地利用誘導
 - ・開発行為に対する流出抑制対策指導 等

- 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策**
- ・洪水ハザードマップ作成・更新
 - ・ため池ハザードマップ作成
 - ・防災教育・啓発活動等の推進
 - ・要配慮者利用施設における避難計画の策定支援
 - ・タイムラインの作成・運用
 - ・ホットライン構築
 - ・水位計・監視カメラの設置
 - ・広域避難計画策定
 - ・分かりやすい防災気象情報の提供
 - ・ゲリラ豪雨対策アクションプラン策定 等



※具体的な対策内容については、主な対策を記載しており、今後の調査・検討により変更となる場合があります。
 ※河川管理者の河川整備計画は、現時点では現行計画を基にプロジェクトに反映しますが、今後、河川整備計画の変更手続きを行う予定なので、変更された場合にはその内容を反映します。
 ※他の事業者の計画も見直されれば、同様に反映します。
 ※新たな関係者にも広く参加を呼びかけることから、新たな関係者の計画も反映します。
 ※**○川**は、府・政令市管理河川の代表的な箇所(河川)を示したものである。

淀川水系流域治水プロジェクト 淀川(大阪府域)分会【ロードマップ】

～ 滯輝く関西経済圏を支える流域対策～

- 淀川(大阪府域)では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、国、府、市町が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。
大阪府域は複数河川が貫流する低平地に形成された高度な都市構造を有し、洪水、津波、高潮、内水氾濫等により大規模な浸水被害が発生するリスクがあることから、河川改修やダム整備と併せて、下水道施設整備、流出を抑制する雨水貯留施設等の拡大や河川防災ステーション整備、広域避難計画策定等の流域治水対策を実施する。

【短中期】 計画規模洪水を安全に流下させるため、橋梁架替や河道掘削、堤防整備と併せて、下水道施設整備や貯留浸透施設の整備を推進する。

【長期】 大規模な浸水被害から人命や資産を守るため、高規格堤防整備や流出抑制策を実施し、流域全体の安全度向上を図る。

区分	主な対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	堤防整備、河道掘削、橋梁架替等	大阪府、大阪市 淀川河川事務所		なんば線橋梁架替完成 (淀川河川事務所)	
	地震・津波、高潮対策	大阪府、大阪市 淀川河川事務所	水門強化完成(大阪市)		3大水門改築完成 (大阪府)
	ダム建設	大阪府	安威川ダム完成 (大阪府)		
	砂防事業、森林整備・保全	大阪府、高槻市、枚方市			
	雨水貯留浸透施設、雨水幹線整備、 下水道施設増強、耐水化	大阪府、大阪市、吹田市、高槻市、枚方市、 茨木市、寝屋川市、柏原市、藤井寺市、東大阪 市、島本町 等			・大隅十八条幹線・此花下水処理場ポンプ場完成(大阪市) ・楠葉排水区雨水貯留管等整備完成(枚方市) ・中の島・片山工区雨水レベルアップ整備完成(吹田市) ・新岸田堂幹線完成(東大阪市) ・JR高槻駅北雨水貯留施設整備完成(高槻市)
	排水施設整備、改修、修繕	大阪府、大阪市、高槻市、枚方市、寝屋川 市、門真市、門真市、東大阪市 等	高宮ポンプ場整備完成 (寝屋川市)	門真守口増補幹線完成(大阪府) 川俣処理区合流管渠整備(柏原西排水区)完成(柏原市) 山崎雨水幹線完成(島本町)	
被害対象を減少させるための対策	立地適正化計画・居住誘導	高槻市、枚方市 等	居住誘導区域見直し及び防災指針策定 (高槻市)		
	家屋の耐水化啓発	高槻市 等			
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	避難確保計画策定支援	大阪市、高槻市、枚方市、摂津市 等	要配慮者利用施設の 避難確保計画策定 (枚方市内の施設)		
	ハザードマップ作成、防災教育、避難訓練 等	大阪市、吹田市、高槻市、枚方市、摂津市、 藤井寺市、東大阪市、島本町 等	SOS避難メソッド等を掲載した 防災ブック作成 (摂津市)		
	防災気象情報の改善	大阪管区气象台			
	広域アクションプラン(ゲリラ豪雨対策)	環境省、大阪府 等	アクションプラン策定		

気候変動を踏まえた更なる対策を推進

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。

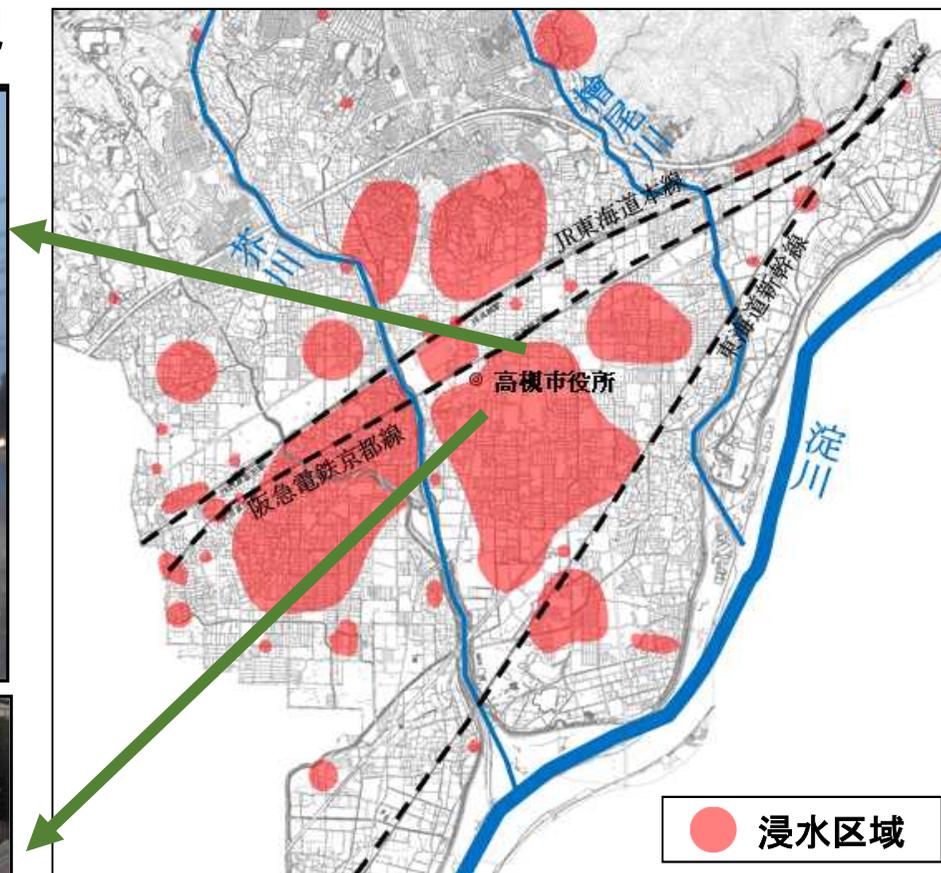
1-4.淀川(大阪府域)分会

高槻市

流域治水対策の取組み事例

高槻市

○高槻市内の近年の浸水被害発生状況



平成24年8月14日の集中豪雨

時間最大雨量	110mm/hr (公園墓地雨量観測所)
総雨量	216mm
床上浸水	247戸
床下浸水	597戸

○高槻総合雨水対策アクションプラン

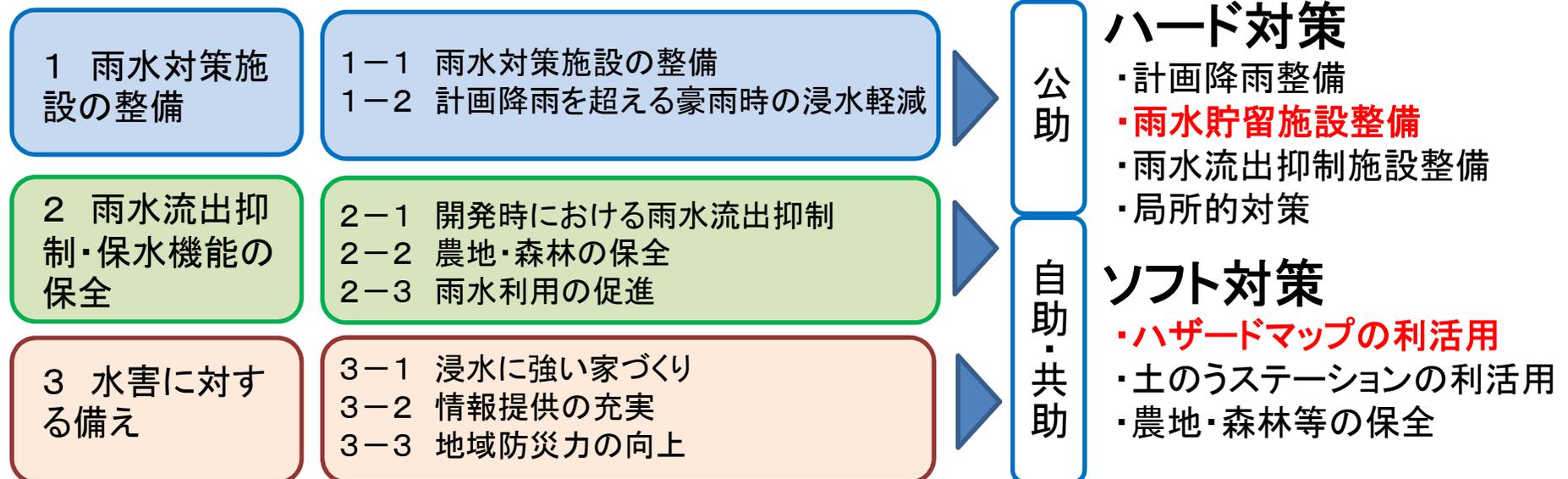
平成24年11月 高槻市総合雨水対策推進本部を設置

組織構成:

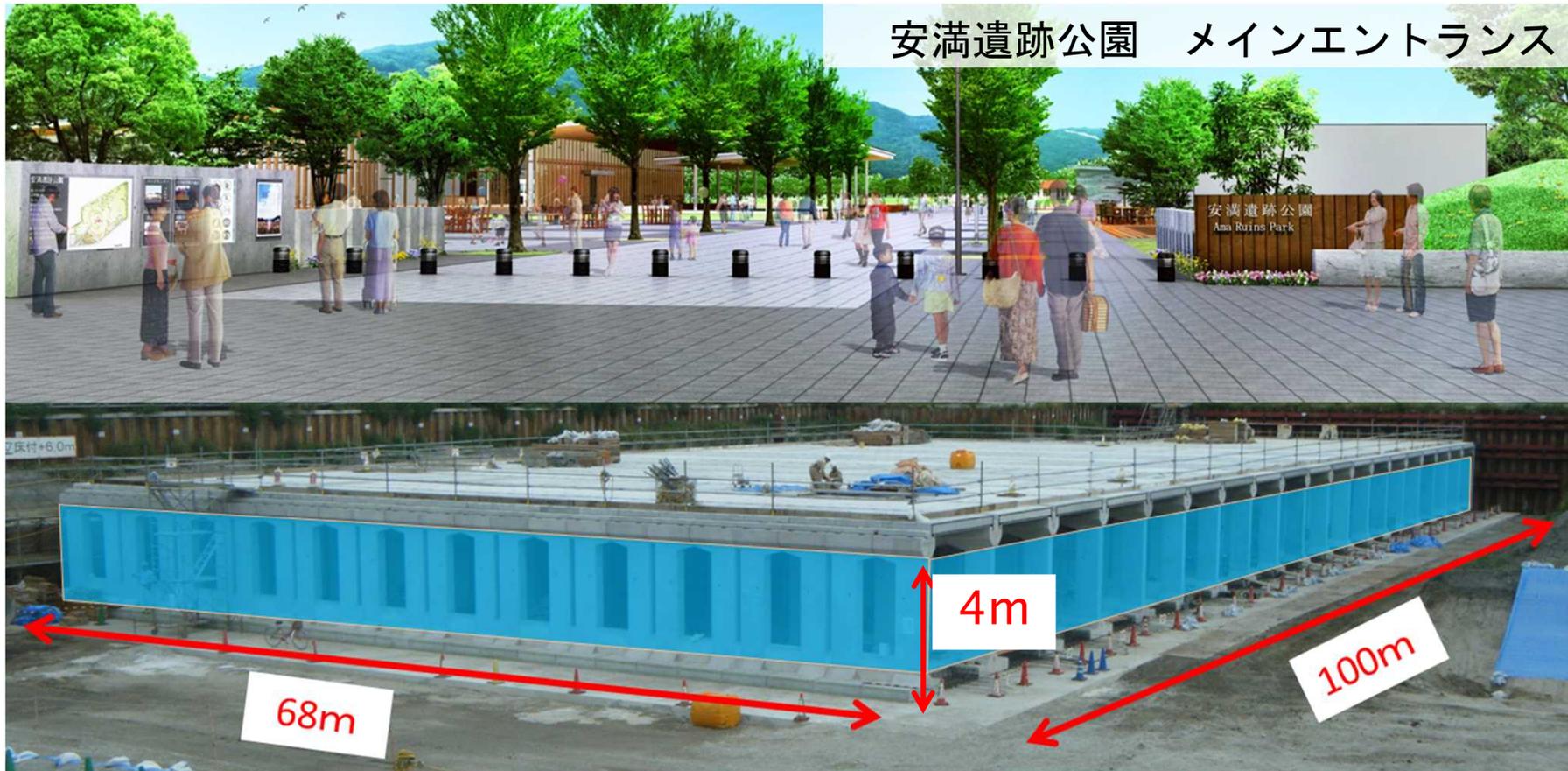
副市長、技監、総合戦略部、総務部、都市創造部、街にぎわい部、教育委員会

平成25年2月 高槻市総合雨水対策基本方針策定

平成27年2月 高槻市総合雨水対策アクションプラン策定



○雨水貯留施設の整備



安満遺跡公園内雨水貯留施設

- ◆ 貯留量 20,000m³
- ◆ 平成29年6月供用開始
- ◆ 総事業費 約26億円



「災害が起こったときのために
造っていただいているので、
感謝しなければいけないなと
思いました。」

（参加児童の感想）

流域治水対策の取組み事例

高槻市

○水防災に関する出前講座・学習会の実施

○高槻市水害・土砂災害ハザードマップ



平成30年度国土交通大臣賞
(循環のみち下水道賞)受賞

○学習動画



学習動画
QRコード



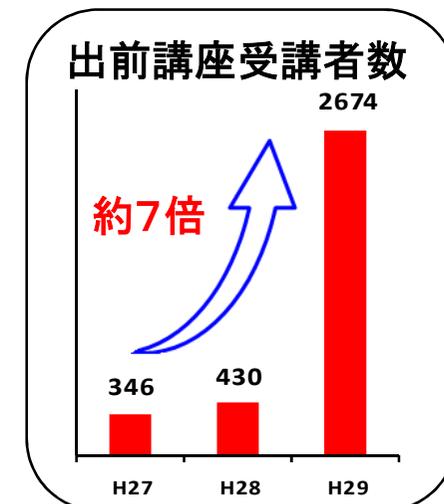
○教員向け研修、出前講座の実施状況



教職員向け研修



出前講座(中学校)



○水害履歴の情報発信

○自然災害伝承碑(国土地理院)の登録



淀川大塚切れ

大正6年10月1日発生

淀川の堤防が200mに渡って決壊。
浸水・流出家屋 約15,000戸
被災者数 約65,000人

この記念碑は、大正6（1917）年10月1日に発生した大規模な淀川堤防の決壊「大塚切れ」に際して、数万人にのぼる人々が力を合わせて堰止工事を行い、大水害から復興した経過を記したものです。

この碑文にある「居安必勿忘危（安に居て必ず危を忘れること勿れ）安楽に暮らしていても、絶対に危機のあることを忘れてはならない」という言葉からは、実際に大水害を体験し、復旧のために大変な苦勞をした先人達でなければ語りえない迫力と、後世へこのいましめを伝えなければならないという強い義務感が伝わってきます。

私たちは、発災100年を機に、これまでの100年間、淀川の堤防が守られ、大水害が発生しなかったことに感謝するとともに、未来に向け、このいましめを後世に伝え、人々の生命・財産を守り続ける努力を積み重ねていかなければなりません。

平成29（2017）年10月1日

第21代 高槻市長 濱田 剛史

※大塚切れ100年記念銘版より抜粋

○大塚切れ伝承式

開催日 : 10月1日

参加者 : 高槻市長、市職員

来賓 : 淀川河川事務所長

実施内容 : 市職員（新規採用職員等）による碑文朗読と職員代表による決意表明を実施

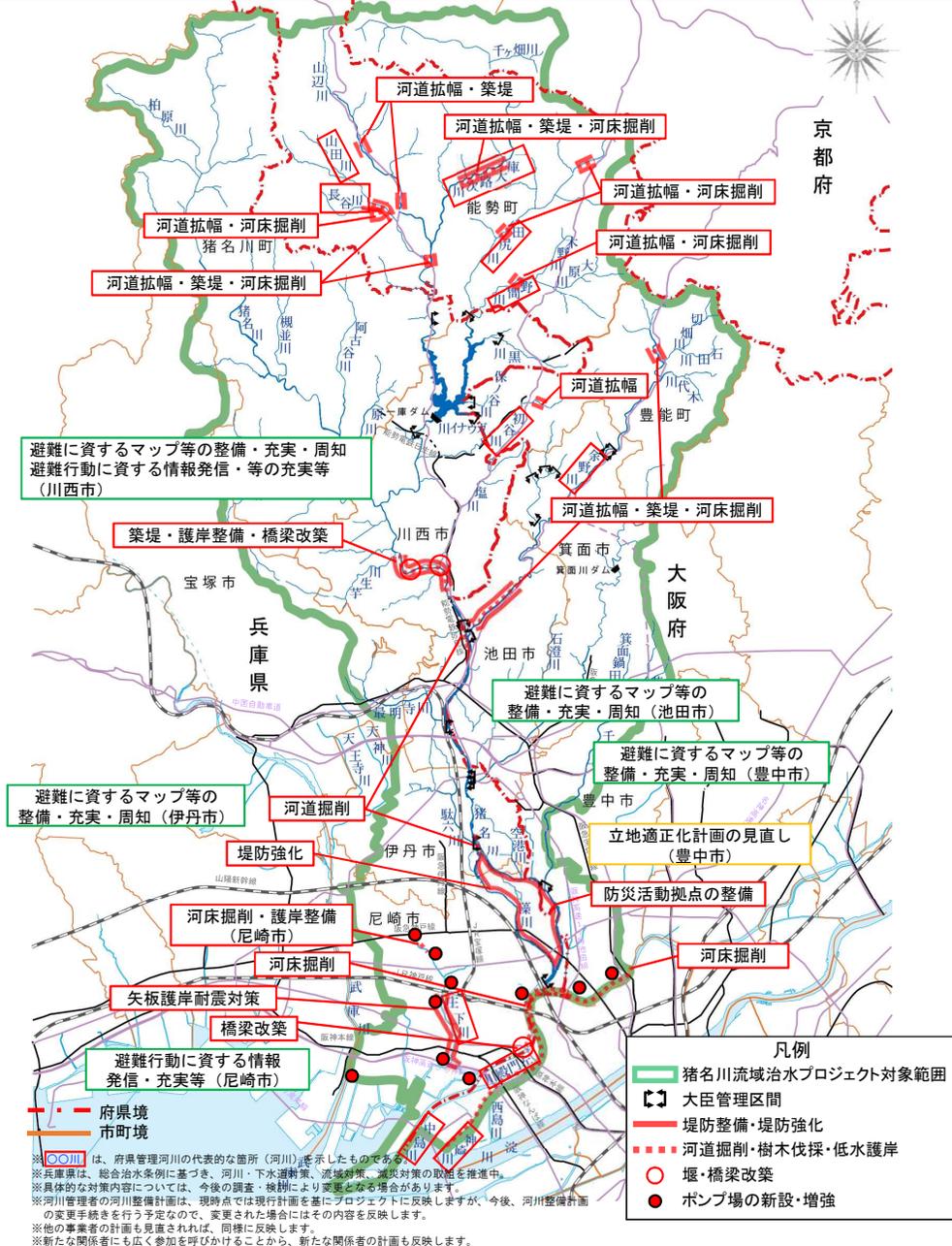


1-5.猪名川分会

淀川水系流域治水プロジェクト 猪名川分会【位置図】

～ 総合治水と流域治水による猪名川流域の治水安全度のさらなる向上 ～

○令和元年東日本台風では、各地で戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、淀川水系猪名川流域においても、事前防災対策を進める必要があり、「氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策」、「被害対象を減少させるための対策」、「被害の軽減、早期復旧・復興のための対策」をハード・ソフト一体で進めることで洪水を安全に流し、気候変動を踏まえた更なる対策を推進し、流域における浸水被害の軽減を図る。



- 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策**
- ・島の内地区の防災活動拠点の整備、堤防強化等（直轄区間全川含む）
 - ・左門殿川、神崎川、庄下川の河道（河床）掘削、河道拡幅、築堤、橋梁改築、耐震対策等
 - ・猪名川上流部（出在家地区・多田院地区等）の河道（河床）掘削、築堤、護岸整備、橋梁改築及び一庫ダムの暫定放流の解消
 - ・一庫ダム及び箕面川ダムの事前放流等の実施・体制構築
（関係者：国、兵庫県、大阪府、水資源機構、土地改良区、川西市、伊丹市、尼崎市、池田市、阪神水道企業団など）
 - ・下水道整備による浸水対策の下水道等の排水施設、流域下水道（雨水）管渠の整備・老朽化、雨水ポンプ増強、市町村における浸水対策事業、下水道吐口の耐震化
 - ・流出抑制対策の雨水貯留浸透施設の整備、開発行為に伴う調整池の設置、ため池等の治水利用
 - ・森林整備・保全等の治山対策、砂防事業（堰堤）の推進による雨水・土砂・流木の流出抑制対策 等

- 被害対象を減少させるための対策**
- ・建物等の耐水機能の確保・維持（敷地の嵩上げ、電気設備等の上階設置）
 - ・土地利用誘導（立地適正化計画の見直し等） 等

- 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策**
- ・避難に資するマップ等の整備・充実・周知
 - ・避難勧告等による判断・伝達マニュアルの整備・発令支援
 - ・避難行動に資する情報発信の充実等
 - ・防災教育に関する講習会・避難訓練等の実施
 - ・タイムライン（マイ・タイムライン、マイ避難カード、水害対応等）の作成・支援
 - ・「局地的豪雨探知システム」の利活用推進とゲリラ豪雨対策アクションプランの策定
 - ・兵庫県住宅再建共済制度（フェニックス共済）への加入促進
 - ・広域避難体制の構築
 - ・水防団や地域住民が参加する洪水に対しリスクが高い区間の共同点検
 - ・水位計・監視カメラ・簡易量水標の設置 等



防災活動拠点整備、堤防上道路との接続（国土交通省）



直径3m、延長350mの雨水貯留管整備の掘削立坑（伊丹市）

淀川水系流域治水プロジェクト 猪名川分会【ロードマップ・効果】

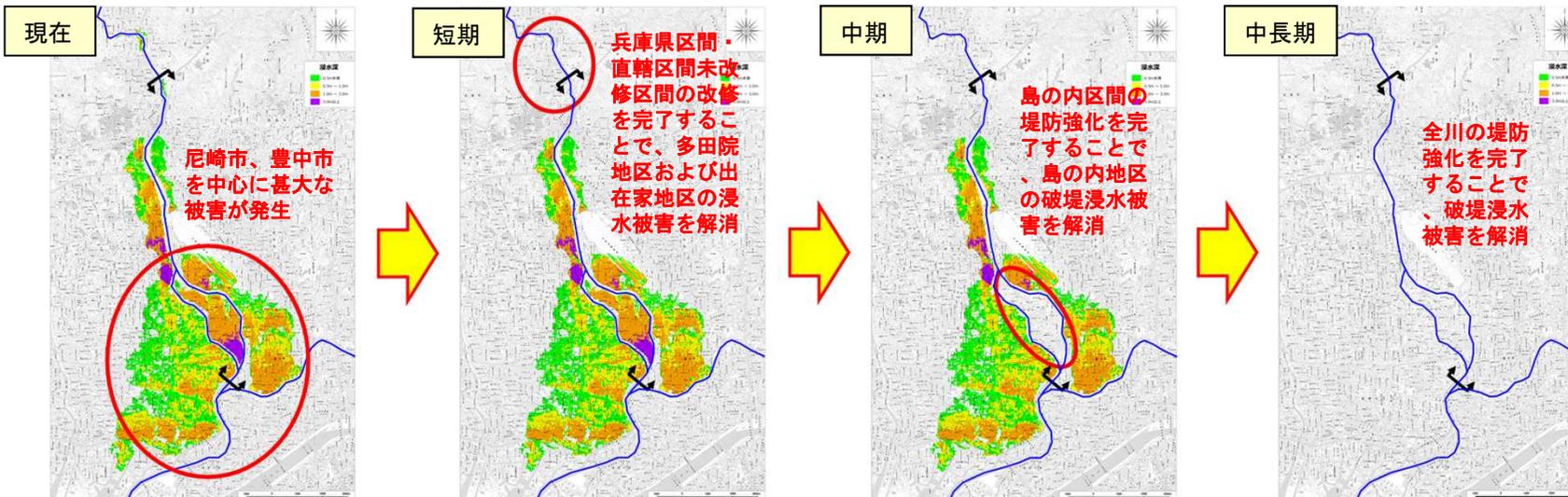
～ 総合治水と流域治水による猪名川流域の治水安全度のさらなる向上 ～

- 猪名川では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、国、府県、市町が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。
あわせて、都市河川である流域の特徴を踏まえ、下水道整備による浸水対策（雨水ポンプ増強等）・流出抑制対策（雨水貯留施設の整備等）の氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策、土地利用誘導の被害対象を減少させるための対策、避難に資するマップ等の被害軽減、早期復旧・復興のための対策を実施。
- 【短期】猪名川上流部の兵庫県区間（多田院地区等）で築堤・護岸整備・橋梁改築を実施。
猪名川上流部の直轄区間上流（出在家地区）で河道掘削を実施し、河川整備計画メニューを完了。
 - 【中期】猪名川と藻川に囲まれる島の内地区において、壊滅的な被害を未然に防ぐため、堤防強化を実施。
 - 【中長期】川西市・池田市・豊中市・尼崎市の壊滅的な被害を未然に防ぐため、直轄区間全川の堤防強化を実施。

区分	対策内容	実施主体	工程			
			短期	中期	中長期	
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	島の内地区の防災活動拠点の整備、堤防強化等（直轄区間全川含む）	猪名川河川事務所	防災活動拠点完了	島の内地区（上下流部）	川西市・池田市・豊中市・尼崎市	
	左門殿川、神崎川、庄下川の河道（河床）掘削、河道拡幅、築堤、橋梁改築、耐震対策等	大阪府・兵庫県 尼崎市	大阪府（神崎川） 兵庫県（左門殿川、神崎川、庄下川） 尼崎市（庄下川）			
	猪名川上流部の河道（河床）掘削、築堤、護岸整備、橋梁改築及び一庫ダムの暫定放流の解消	猪名川河川事務所 大阪府・兵庫県	猪名川上流部 多田院地区	一庫ダム暫定放流解消	気候変動を踏まえた更なる対策を推進	
	一庫ダム及び箕面川ダムの事前放流等の実施、体制構築	猪名川河川事務所 大阪府・兵庫県	一庫ダム・箕面川ダムの事前放流実施			
	下水道整備による浸水対策	大阪府 豊中市・伊丹市 等	雨水ポンプ・幹線・管渠等の整備（豊中市・池田市・尼崎市・伊丹市・川西市）	雨水増補管の整備（豊中市）		
	流出抑制対策（調整池、ため池等）など	林野庁 大阪府・兵庫県 等	ため池等の雨水貯留浸透施設の整備・活用（大阪府・兵庫県・池田市）	森林整備・保全等の治山対策・砂防事業（堤防の推進による、雨水・土砂・流木の流出抑制対策（林野庁・大阪府・兵庫県）	総合治水対策の強化	
被害対象を減少させるための対策	土地利用・住まい方の工夫	大阪府・兵庫県 豊中市	建築物等の耐水機能の確保・維持（兵庫県）	立地適正化計画の見直し（豊中市）		
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	避難に資するマップ等の整備・充実・周知	猪名川河川事務所 大阪府・兵庫県 池田市 等	浸水・高潮・土砂災害ハザードマップの集約した保存版の作成（豊中市）	洪水等ハザードマップの作成・公表・周知・啓発（大阪府・兵庫県・豊中市・池田市・尼崎市・伊丹市・川西市）		
	避難行動に資する情報発信・充実等	猪名川河川事務所 大阪府・兵庫県 川西市 等	防災情報等の発信（大阪府・兵庫県・池田市）	多様な情報発信手段の検討、整備（尼崎市・川西市）		

気候変動を踏まえた更なる対策を推進

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。



※現在から中長期までの効果は、現時点のものであり今後の調査・検討等により変更となる場合がある。
※直轄管理区間において、計画規模洪水（1/200、S58.9洪水型）が発生した場合に、氾濫ブロックで被害最大となる1箇所を破壊させた場合の氾濫想定範囲
※兵庫県区間において、整備計画目標洪水（1/20、S58.9洪水型）が発生した場合に、氾濫ブロックで被害最大となる1箇所を破壊させた場合の氾濫想定範囲